

2019年度「創作ゼミナールⅡ」発表要約

2019年12月13日 作成

学籍番号：3117036

氏名：西巻佳緯（緑川研究室）

テーマ名：「企業ホームページの作成」

1. 研究の目標（創作ゼミナールⅠでのテーマ発表時の目標との相違がある場合には、変更点と変更した理由も書いてください。）

- 1.html と css の基礎知識、応用知識の習得
- 2.レスポンシブ web 対応のホームページを目指す
- 3.実際に企業が使える web ページを実用化してもらう

2. 研究の概要（どのような問題意識で、どのような手法で、どのように研究を進めたか、目標のどこまでを達成できたのかなど、研究の流れを簡潔にまとめてください。）

初めに、有限会社丸喜阿保商店の web サイトの作成を研究テーマに選んだ。
インターネット上にある様々な企業の web サイトを見て参考にした。
大まかなデザインやレイアウトを考え、有限会社丸喜阿保商店のサイト上に載せてほしい情報を受け取り、サイトの作成に取り掛かった。
企業側の要望にあった会社概要、取扱商品、お問い合わせのタブを作成しベースとなる部分の作成は完了した。html と css ではできることが限られるため、jQuery を導入することにし、動きや変化のあるサイトを作成した。

3. 研究成果（研究で得られた成果を簡潔にまとめてください。）

これまで、html や css を用いて web サイトの作成を数回したが、数か月の期間を用いての作成を今回初めて体験しスケジュールの組み方の難しさや、デザインのセンスが必要など web サイトの作成の難しさを痛感したが、html や css の基礎的な知識は身に付き、疑似的なレスポンシブ web も再現することができ、自身の成長に繋げることができた。

4. 結論（この研究で達成できたこと、達成できなかったこと、改良が必要なことなどを書いてください。）

Web サイトのベースとなる home 画面の作成、会社概要、取扱商品、お問い合わせのページのベース、経営理念、社歴、会社の所在地の入力、ページの幅に合わせた文字の表記などの機能を実現することができた。

今後は、未入力の取扱商品情報の入力や、見やすい文字のレイアウトやデザインに修正などが挙げられる。

5. 考察と展望（研究の過程や成果を振り返って、研究の進め方について考えたこと、今後の研究の可能性などをまとめてください。）

web サイトを作成するにあたって、デザインや見やすさなどを重視し、企業の販売商品や会社の事業内容などを考慮し企業のイメージから外れないようにすることを心掛けた。

今後については、商品リストなどの入力やレスポンス web に対応する web サイトを作成などが挙げられる。

6. 参考文献（書籍、論文、Web データの出典などの情報を書いてください。）

Web データ

企業・コーポレーション web デザインのリンク集：<https://www.ikesai.com/cat/corp/>

HTML,CSS カラーコード一覧表：<http://www.netyasun.com/home/color.html>

大東文化大学：http://www.ic.daito.ac.jp/~mizutani/html/paste_map.html

藤澤研究室：<https://sites.google.com/view/fujilab>

7. 研究履歴（創作ゼミナール I を含めたこれまでの研究活動の各段階について、その履歴を書いてください。）

6～7月	希望のタブや機能、大まかな情報の把握
7～9月	企業サイトの閲覧、大まかなデザインの決定
10～11月	プログラムの作成、細かい会社の情報の入力
12月前半	バグの修正および情報の入力
12月後半	発表準備